

やすらぎとふれあいに満ちた “ほっと” なまちへ

会長 木暮 治一（渋川市長）

昨年8月に設置した渋川地区市町村任意合併協議会は、市町村から選出された委員の皆様のご協力をいただき、これまで10回の協議会を重ねてまいりました。この間、2回にわたる住民説明会を開催致しましたが、多くの皆様から当地区の将来を考えた貴重なご意見、ご指導を頂いてまいりました。

このたび、皆様のご意見をもとに各市町村議会のご賛同をいただき、当地区の合併協議を法定合併協議会へと進めることになりました。尚一層のご意見を頂きながら、この地域の新しいまちづくりへと皆様と一丸となって進んでまいりたいと思います。皆様のご協力をお願い申し上げます。



副会長 永井 良一（赤城村長）

新しい物や仕組みをつくるためには、いつの時代でもその目的を達成するための手順や条件の調整に多くの労力や時間を費やし、大変な苦勞が伴うものです。

渋川地区市町村合併協議会では、新しい街づくり、地域づくりに向けた協議が粛々と進められています。

合併は単なる枠組みだけの問題でなく、名実ともに「やすらぎとふれあいに満ちた“ほっと”なまち」の建設にむけ、それぞれが英知を出し合い、議論を重ねてお互いに汗を流してこそ、新しい時代の地域社会の実現が可能になると確信します。協議の中で培ったお互いの信頼関係を大切にしていきたいと思います。

副会長 阿久津 貞司（子持村長）

いよいよ法定協議会のスタートです。新市誕生に向けて、未協議項目を含め、新市の名称、合併期日等、今まで以上に活発な議論が交わされるものと思います。

新たな時代に即応できる、よりよい自治体を目指し、今後も子や孫の世代の為に、新市建設計画に向けて協議を進めていきたいと考えております。

合併は住民の皆さんの生活に大きくかかわってくる問題です。合併の主役は住民のみなさんです。引き続きご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



副会長 関口 俊二（伊香保町長）

今、見なれた風景が一つになろうとしています。未来を見据えた繊細にして大いなる展望に立った熟慮は、人々に共通の喜びを分け与えてくれることになるでしょう。

悠久の歴史を見守ってきた赤城、子持、小野子、そして榛名の山々に抱かれた6市町村は、今まさに歴史の岐路に立ちっており、次世代を展望した決断は、今を生きる人々の責任です。

四季折々の自然に育まれた人々の生活と経済活動の営みは、大きな輪となり、21世紀を形作ってまいります。素晴らしい新市を目指し、共に大いなる知恵を出し合わなければならないと思います。



副会長 小野 利治（小野上村長）

渋川地区合併協議会が発足した事を心からお喜び申し上げます。市町村合併につきましては、従来任意合併協議会において協議検討を重ねてまいりましたが、今後は舞台を合併協議会、いわゆる法定協議会の場に移し、いよいよ大合併に向けた本格的な詰めに入ります。

我々合併協議会の構成メンバーも円滑かつ成功裏に新市誕生の瞬間を迎えられることを目標に粉骨砕身努力する所存でありますので、今後とも住民の皆様にはご理解、ご協力を切にお願い申し上げます。

副会長 木村 榮一（北橋村長）

このたび、渋川地区市町村合併協議会が、住民のみなさまのご理解とご協力により、発足することができましたことに対し、感謝申し上げます。

この合併が将来、この地域に住む人々が、将来に渡って良かったと思えるものでなければなりません。合併に対して不安を抱いている方々への理解を得る努力も必要であります。

今後、新市建設計画の策定や新市の名称なども協議・検討して、合併に向けての取り組みが始まります。住民の方々のご意見を伺い、住民福祉の向上のため、また、合併をして良かったと言っただけ「まちづくり」に努力してまいりたいと考えておりますので、住民のみなさまのご理解とご協力を賜りますよう申し上げます。



渋川地区の 未来 に向けて